


令和 7 年 度

兵庫県公立高等学校学力検査問題

国 語

注 意

- 1 「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
- 2 「開始」の合図で、1ページから10ページまで問題が印刷されていることを確かめなさい。
- 3 解答用紙の右上の欄に受検番号を書きなさい。
- 4 解答用紙の  の得点欄には、何も書いてはいけません。
- 5 答えは、全て解答用紙の指定された解答欄に書きなさい。
- 6 問題は五題で、10ページまであります。
- 7 「終了」の合図で、すぐ鉛筆を置きなさい。
- 8 解答用紙は、机の上に置いて、退室しなさい。

一 中学校二年生のAさん・Bさん・Cさん・Dさんたち四人は、地域のスーパーマーケットでトライやる・ウィークの活動を実施したあとの校内発表会に向けて準備をすることになった。次の【連絡】・【資料1】～【資料3】を参考にしながら【会話文】を読んで、あとの問いに答えなさい。

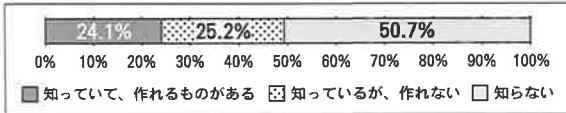
【連絡】校内発表会について

トライやる・ウィークが終わりました。以前から知らせていたように、校内発表会を実施します。発表での留意点は以下のとおりです。

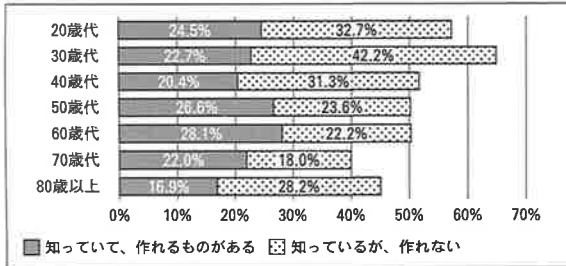
- 1 発表用のスライドを作成してください。
- 2 スライドに次の内容を入れてください。
  - 活動内容とその感想
  - 活動中の写真
  - 活動内容に関連することの調査
  - 上記の調査結果を自分の生活と関連づけて行った考察・提案
- 3 1年生に加えて、事業所の方も来られます。話し方・表現に注意しましょう。

【資料1】郷土料理の認知と実践

【全体の割合】



【知っている人の年代別内訳】



（「食育推進計画」（兵庫県）より作成）

【会話文】

生徒A 品出しや倉庫の整理と忙しい五日間だったね。

生徒B 毎日、バラエティーに富んだ商品が運び込まれてくるのに驚いたよ。

生徒C スーパーの中で加工して、ラベルを貼るものもあるんだね。「今が旬です」というラベルの他に、「兵庫県産」とか産地を示すラベルもあったね。

生徒D 惣菜コーナーでは兵庫県の郷土料理を特集する時期があるらしいよ。

生徒A 郷土料理か……私は家でそういうのを食べた記憶がないんだけど、みんなはどう。

生徒D 私も同じ。インターネットで県内のどれくらいの人が郷土料理を作れるのか調べてみようよ。

生徒B 【資料1】の「郷土料理の認知と実践」で県内の大まかな傾向が分かるね。

生徒C そうだね。そういえば、給食で地元の食材を使っていたよね。今度は給食について調べてみよう。

生徒B 賛成。「地産地消」ってことだね。県内の他の地域の給食も気になるね。

生徒A 【資料2】によると、④ということが分かるよ。

生徒C 地域の特徴が出ていて面白いね。地元の食材を食べる取り組みが進んでいるんだね。

生徒D うん、確かにそうだね。でも、どうして地産地消って大事なのか。特別安いわけじゃなかった気がするし、どんなメリットがあるんだろう。

生徒B 【資料3】を見て。給食で地元の食材を使うことについても書いてあるよ。

生徒A そういえばスーパーでも生産者の方の名前や写真が売り場に出ていたね。

生徒D 郷土料理から始まって、地産地消、SDGsまで広がったね。じゃあ活動内容で伝えたいことは何か。私はスーパーのお客さんにかけてもらってうれしかったことばを紹介したいね。

生徒C たくさんの人にお世話になったから、感謝の気持ちを伝えたいな。

生徒A 忙しく働いたこともね。それに店員の立場からスーパーを見ると、たくさんの人が一つのお店を支えていることに気づけたよ。

生徒B その気づきは発表で伝えたいね。⑤発表の構成をどうすればいいかな。

生徒D 先生や一年生はどんな活動をしたか気になると思うから、具体的な話から始めようよ。

生徒C 発表の最後には感謝の気持ちをこめてお礼を言いたいよ。

生徒D お客さんからのことばは活動と関係が深いから、すぐあの方がいいと思うんだけど。

生徒B そうしよう。聞き手がイメージしやすいところから始めた方がいいね。そのあとで集めた資料の説明をしよう。写真はどうしようか。

生徒A スライドに載せるものだね。写真は選んでおくから、また確認してね。

【資料3】地場産物等の活用の推進

学校給食に地場産物を活用し、食に関する指導の教材として用いることにより、子どもがより身近に、実感を持って地域の食や食文化等について理解を深め、食料の生産、流通に関わる人々に対する感謝の気持ちを抱くことができます。また、地場産物の活用は、生産地と消費地との距離が縮減されることにより、その輸送に係る二酸化炭素の排出量も抑制されるとともに、流通に要するエネルギーや経費の節減等環境負荷の低減にも寄与するものであり、SDGsの観点からも有効です。

(「食育白書」(農林水産省)より作成)

【資料2】学校給食における地場産物活用状況

三田市	地域産の米を使用。月に一度の「和食の日」に牛乳のかわりに地域産の茶を提供。
明石市	地域産または明石近郊産の米を使用。毎月19日ごろに「食べよう兵庫の食材の日」献立を設定し、県産等の食材を指定して調達。
丹波篠山市	特産品(黒大豆、山の芋、丹波栗)を使用した独自のメニューを考案。
新温泉町	地元の漁業組合よりホタルイカ、アカエビ、セコガニ、アカイカ等は無償で提供を受け、給食で使用。
南あわじ市	島内企業より商品化できなかった淡路島産タイの提供があり給食に使用。米は地域産のものを使用。特産品であるたまねぎを給食で使用。市内水揚げの魚介も給食に使用。

(「学校給食の現況」(兵庫県教育委員会)より作成)

問一 傍線部①の意味として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。  
 ア 大きな イ 立派な ウ 個々の エ 種々の

問二 傍線部②の漢字の読み方を平仮名で書きなさい。

問三 傍線部③を説明した次の文の空欄 a・bに入る最も適切なことばを、あとの各群のア～エからそれぞれ一つ選んで、その符号を書きなさい。

兵庫県内の郷土料理を知っている人の割合は、全体では約 a 程度になっており、それを年代別に整理したグラフを見ると、 b ということが分かる。

a ア 50% イ 40% ウ 25% エ 20%

b ア 郷土料理を知っている人の割合は、30歳代以上で減少を続ける  
 イ 40歳代以下では、郷土料理を作れない人の方が作れる人よりも多い  
 ウ 全年代で、20%以上の人が郷土料理のなかで作れるものがある  
 エ 郷土料理を作れない人の割合は、50歳代以上で増加を続ける

問四 【会話文】の空欄④に入る最も適切なことばを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。  
 ア 二つの地域が19日の献立を工夫している イ 地域産物が毎月使用される地域がある  
 ウ 三つの地域が地域産の米を使用している エ 地域産魚介類が毎月提供される地域がある

問五 傍線部⑤の要旨をスライドにまとめるときに気をつけることとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。  
 ア 地場産物の活用が子どもたちと地球環境に与える影響についてまとめる。  
 イ 生産地と消費地を結ぶ流通事情の改善が食文化の変容につながったことを整理する。  
 ウ 自然の恵みへの感謝と生産物に関わる人々への感謝を中心にとまとめる。  
 エ 学校給食が子どもたちの健康増進とSDGsに関わっていることを整理する。

問六 傍線部⑥について、Aさんたちが考えた「構成」として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。  
 ア 資料の説明→お礼→活動内容→お客さんのことば  
 イ お客さんのことば→資料の説明→活動内容→お礼  
 ウ お礼→お客さんのことば→資料の説明→活動内容  
 エ 活動内容→お客さんのことば→資料の説明→お礼

問七 【会話文】の話合いのあと、Aさんは【連絡】にあることを相談し忘れたと気づいた。相談し忘れたことの説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。  
 ア スライドに掲載する活動中の写真 イ 調査結果を自分の生活に結びつけた考察・提案  
 ウ 事業所に対する活動後の印象 エ 活動後に事業所の人からかけられたことば

二 次の書き下し文と漢詩を読んで、あとの問いに答えなさい。

〔書き下し文〕

商山の早行

温庭筠

晨あしたに起きて征鐸せいたくを動かす

客行かくかう故郷を悲しむ

鷄声茅店の月

人跡板橋の霜

榭葉山路に落ち

枳花きくわ駅牆えきかきに明らかなり  
(宿場の垣根にきれいに咲いている)

因りて思ふ杜陵の夢

鳧雁ふんげん回塘かいたうに満つるを

〔漢詩〕

商山早行

温庭筠

晨ニ起キテ動カス征鐸ヲ

客行悲シム故郷ヲ

鷄声茅店月

人跡板橋霜

榭葉落チ山路ニ

枳花明ラカナリ駅牆ニ

因リテ思フ杜陵夢

鳧雁滿ツルヲ回塘ニ

(注) 商山——都の長安から南東に約百キロ離れた山間の町。

征鐸——出発の時に鳴らす鈴。

榭葉——柏の葉。

枳花——からたちの花。春に咲く。

杜陵——長安近郊にある名所。

鳧雁——鴨や雁などの水鳥。

回塘——池のほとり。

〔唐詩選〕

問一 書き下し文の読み方になるように、傍線部に返り点をつけなさい。  
問二 【解説文】を読んで、空欄 a、b、c に入る適切なことばを、a は二字の漢字、b は一字の漢字で書き、c はあとのア、イ、ウ、エから最も適切なものを一つ選んで、その符号を書きなさい。

【解説文】

「商山の早行」は、唐の時代に温庭筠が作った五言律詩である。第三句と第四句、第五句と第六句で、構造が似て対応関係にある二つの句を並べる表現方法である。a が用いられ、商山とその周辺の景色が描写されている。なかでも第三句と第四句は印象深い。「茅店」と「板橋」、「月」と「霜」のように、品詞が同じだけでなく、建築物、自然物というように種類も同じ語を並べている。さらに、「鷄声」と「人跡」では、聴覚と b 覚という異なる感覚の組み合わせで、詩の世界を立体的に表現している。

一方で、第七句と第八句では作者の内面が表現されている。これらは、第二句の「故郷」が長安だということを踏まえると、作者が c 状況を表現したものと理解することができる。

- ア 商山までの旅路を振り返って、杜陵や水鳥たちの様子を思い出し、再び長安で暮らすことを期待している
- イ 長安で悲しい思いをして旅に出たものの、杜陵や水鳥たちの様子を思い出し、長安に戻る決意を固めている
- ウ 旅先の商山あたりの景色を見ることで、杜陵や水鳥たちの様子を思い出し、長安を懐かしく思っている
- エ 懐かしい杜陵や水鳥たちの様子を思い出し、孤独感を乗り越え、旅を続けていこうと前向きになっている

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ある時、義貞大勢を率し出陣せられし時、制札を立てらるるその趣は、

「諸士下々に至るまでも、作を刈りとり、人家に押し入り、乱妨狼藉

して、百姓等をなやます者あらば、すみやかに罪科に行ふべし」と、書立

置かれけるに、かの小山田太郎、青麦を刈りとり、我が乗り馬に付けて陣

屋に帰りしを、時の奉行すなはちこの旨言上す。義貞つくつくと思案し

て、「この小山田はおして法度を犯すべき人にあらず。もし兵糧にや詰ま

りたるらん。陣屋を見よ」とて見せられしに、武具、馬具はさはやかにし

て兵糧は一粒もなし。義貞この旨を聞こしめし、大きに赤面して、郎従の

つかれは將の恥なりとて、小山田には八木、麦の本主にも引物たまはり

しとなり。この情けの程を感じて、湊川にて命に替はりしとかや。

(江島為信『身の鏡』)

(注) 義貞——新田義貞。鎌倉時代の武將。

小山田太郎——新田義貞の家来。

八木——米の異称。

本主——本来の所有者。

問一 二重傍線部を現代仮名遣いに改めて、全て平仮名で書きなさい。

問二 傍線部①の主語として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 義貞    イ 小山田    ウ 奉行    エ 本主

問三 傍線部②の義貞の心情として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 百姓等へかけた迷惑をわびて欲しいと小山田の改心を願っている。

イ 一人のために法度を曲げられないと小山田を罰しようとしている。

ウ 法を破る者ではないはずだと小山田の人柄を信じようとしている。

エ 罰を恐れる人間ではないはずだと小山田の豪胆さを評価している。

問四 傍線部③と義貞が考えた理由として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 部下たちに慌てた姿を見せたから。

イ 部下たちを困窮に追い込んだから。

ウ 百姓等による抗議を受けたから。

エ 百姓等を厳しい法律で苦しめたから。

問五 本文から読み取れる義貞の人柄の説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 厳しい規則を破ってまで小山田が罪を犯したことを知ると、その

状況を調査し、規則を改めることができる柔軟な考え方を持つ人物。

イ 小山田が罪を犯したことを悔いていると聞き、その罪を不問にする

ことでより一層の働きを小山田に期待しようとする賢明な人物。

ウ 罪を犯した小山田と麦の元の持ち主との間を取り持つことで、小

山田には罰を与えずに罪を償う機会を与える大らかな心を持つ人物。

エ 小山田が罪を犯した原因は自分にもあったことに気づくと、小山

田の罪を許し、麦の元の持ち主にもおわびの品を贈る懐が深い人物。

#### 四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ひっこみ思案な中学校二年生の野々歩は、「森のようちえん」にボランティアとして携わることになった。ある日、野々歩は幼稚園の先生のゆりっぺ・森っちと、園児の岡田輝・修也・園部あやめ・ハル・エリたちと森へ出かける。町の住人の陽子さんから届いた昼食を一緒に食べたあと、「終わりの会」で園児たちが話を始めた。

「岡田輝です。聞いてください。橋をつくって、修也さんと遊んだのが楽しかったです」

輝くんが話し終わるやいなや、「はいはい」「はあーい」とまたいっせいに手が上がった。みんな話したくてたまらないって感じ。「だれか意見はありませんか」クラス委員の声だけがむなくひびく、野々歩たちのホームルームと大違いだ。

「じゃあ、あやめちゃん」

輝くんからあやめちゃんにマイクがまわった。

「園部あやめです。聞いてください。お店屋さんごっかがたのしかったです」子どもたちはつきつきと立って発言した。いつものくせで野々歩はそっとなハルくんの背後にかくれた。

そのあいだも、空はどんどん暗さを増していき、会の終わりに全員で山に向かって、「ありがとうございました」と頭をさげるころには、こずえにあたる雨が大きな音を立てていた。子どもたちにならって、母親がリュックに入れてくれていた雨具を急いで着こむ。それでも、ようしゃなく首筋から入りこんでくる雨にブルッと身ぶるいがでた。一気に気温がさがっていた。

来たときに車を止めた場所まで、うっそうとした杉林のあいだの林道を急ぐ。石がごろごろ歩いて歩きにくいうえに、作業用車両のわだちが残る道には、すでにあちこち水たまりができていた。油断すると足をとられる。

「うーん、うーん」

顔にあたる雨がうっとうしくて足をはやめる野々歩の後方から、なにやら苦しげな声が出た。ふりかえると、あやめちゃんが、大きな炊飯器をかかえてうめいている。ハルくんとエリちゃんが手をそえてはいるものの、ほとんど助けにはなっていない。炊飯器を陽子さんの店にかえすために、幼稚園バスまで運ばなきゃいけないのだ。

③ きびすをかえしかけた野々歩のカップを、ゆりっぺがつかんだ。

「放っというて」  
え、なんで。④ この状況で知らん顔ってひどくない？

「あやめちゃん小さい弟や妹がいて、家でもここでもキャパオーバーになるまでがんばり過ぎちゃうの。がんばるのはいいことだけど、しんどいときに『助けて』っていえないとこまるから、わたしたち、あやめちゃんが自分から『助けて』っていえるようになるのを、ずっと待ってるの」

真剣そのもののゆりっぺの表情にけおされた。プロの目だ。森っちも、ゆりっぺも、ゆるく見えて、じつはものすごくよく子どもたちを観察している。

「……生きてるといろいろあるし、人間はひとりじゃ生きていけないでしょ」

⑤ 肩を怒らせて先に行くゆりっぺが、低い声でつぶやきはじめた。雨音がじゃまをして聞きとりにくい。野々歩はカップのフードをはらいのけ、ゆりっぺのそばで耳を澄ませた。

「わたし、意地っぱりですと助けてっていえなかったの。そのことで、かえってまわりにめいわくかけちゃったんだけど、いえたら必ず助けてくれる人っているんだよね。そのことをあやめちゃんにも知ってほしい」

クールに見えるゆりっぺが熱く語っていた。それが野々歩の胸にささった。  
——え？ 「助けて」っていうのは負けじゃないの？

雨はますます激しくなっていた。ゆりっぺと並んで歩きながら、野々歩は混乱した頭で、背後のあやめちゃんの気配に耳をそば立てていた。

「うえーん、えっえっ」

雨音に混じるうめき声が嗚咽おえんに変わった。

「あやめちゃん、どうしたの？」

「だいじょうぶ？ あやめちゃん」

ハルくんとエリちゃんは、いつもしっかり者のあやめちゃんが泣きだしたので、すっかりうるたえている。

「……もうひと息。『助けて』っていいな」

フードの下でゆりっぺが、くちびるをかみしめる。

そのときだった。

「うわあーん。重いよお、だれか持ってー」

⑧ 風船が破裂したような泣き声が林にひびきわたった。あまりの大声に、あたりの枝がふるえて水滴がしたたった。

「いえた！」

⑦ 野々歩とゆりっぺが顔を見あわせたと同時だった。林道をびちゃびちゃと、泥水をはねとばしながら駆けもどってくる子がいた。輝くんだ！

「ごめん、あやめちゃん。持つよ」

肩で息をしながら輝くんは、すぐにあやめちゃんの腕から炊飯器を取りあげた。

「えっ、えっ、ありがとう」

しゃくりあげながら、あやめちゃんはお礼をいった。顔は雨と涙と鼻水でぐしょぐしょだ。よほどほっとしたのだろう、「ふうー」というため息とともに落とした細い肩が④いじらしかった。

——よかったあ。

⑩ 野々歩ののどがつまる。横目でうかがうと、ゆりっぺも手の甲で鼻をこすっていた。

「おうりゃあー」

頭の上まで持ちあげそうな勢いで炊飯器をかかえあげると、輝くんはおしりをつきだしたアヒル歩きでよたよた歩きました。なんとも、ぶかっこう。だけど一生懸命な背中がカッコいい。

「輝くん、ナイスフォロー、サンキュー」

ゆりっぺのはずんだ声かけに、輝くんは勇ましく、

「おう」

と前を向いたままこたえた。

(八東澄子「森と、母と、わたしの一週間」)

(注) わだち——車が通ったあとに残る車輪のあと。

キャバオーバー——処理能力を超えてしまった状態。

問一 傍線部①・②・⑧の漢字の読み方を平仮名で書きなさい。

問二 傍線部⑥で使われている表現技法を、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 直喩(明喩)    イ 隠喩(暗喩)    ウ 倒置    エ 体言止め

問三 傍線部③・⑨の本文中の意味として最も適切なものを、次の各群のア～エからそれぞれ一つ選んで、その符号を書きなさい。

③ ア 手を貸し    イ 振り返り

ウ 声をかけ    エ 後戻りし

⑨ ア 暗れやかだった    イ けなげだった

ウ 穏やかだった    エ 悔しげだった

問四 傍線部④の野々歩の心情の説明として最も適切なものを、次のア～

エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア あやめちゃんが重い荷物を持って苦しんでいることに気づきませずに、ゆりっぺが先を急いでいることに納得できないでいる。

イ 重い荷物を持って困っているあやめちゃんを助けようとしたのに、それをゆりっぺに止められたことにいらだちを感じている。

ウ 一人で重い荷物を運んでいるあやめちゃんを見たのに、ゆりっぺが園児たちに何の指示もしないことに不信感を抱いている。

エ あやめちゃんが重い荷物を運べずにいることを知りながら、ゆりっぺと自分とが何もできないことに悔しさを覚えている。

問五 傍線部⑤のゆりっぺの説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア いつも無理をしすぎてしまうあやめちゃんが、幼稚園での生活とおして周りの人を頼ることを学んでくれるように心の底では応援しつつも、あえて突き放した態度を取っている。

イ つらい時に人を頼るよう教えられてきたあやめちゃんが、なかなかそれを行動へ移せないことに少しづつあせりを募らせつつも、自分からは助けるまいと決意を新たにしている。

ウ 人を頼ることができないあやめちゃんに対して、周りの園児たちが手伝おうとしないことを残念に思いつつも、園児たちの成長のために手出しをしないでおこうと心に決めている。

エ 自分が持っている力以上に頑張ろうとしてしまうあやめちゃんに対して、意地を張る心の強さは認めつつも、取り返しのない事になる前に野々歩と助けに行こうとしている。

問六 傍線部⑦の野々歩とゆりっぺの説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア あやめちゃんの泣き声を聞きつけ、野々歩とゆりっぺよりも先に救いの手を差し伸べる園児たちを目にし、何も言わずとも助け合う様子を喜ばしく思っている。

イ 待ちに待ったあやめちゃんからの呼び声を聞き、自分たちの我慢が実ったことを喜びながら、いち早くあやめちゃんのもとへ駆け寄ろうとしている。

ウ あやめちゃんが泣きながら他の人に助けを求めることができた喜びを、それまで何の手出しもせず我慢し続けてきた二人で分かち合おうとしている。

エ 意地を張り続けてきたあやめちゃんが感情をあらわにして周りの園児たちに助けを求めたことを喜び、一人の園児が見せた成長を涙ながらに喜んでいる。

問七 傍線部⑩の理由を説明した次の文の空欄 a・b に入る適切なことばを、それぞれ本文中から抜き出して書きなさい。ただし、a は二字、b は六字のことばとする。

あやめちゃんの変化に心を動かされたことに加えて、ボランティアに参加するまでは人に助けを求めたら **a** だと後ろ向きに考えていた野々歩が、苦しさを吐露すれば **b** 人がいることを実感し、胸がいっぱいになったから。

問八 本文の登場人物の説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 野々歩は、園児たちとの交流や大人との対立を経て、臆病な自分を乗り越え、周囲の人々と関わっていきおうとする前向きな人物として描かれている。

イ ゆりっぺは、園児たちの変化を見逃さず、いつも声をかけることで、子どもたちが成長することに情熱を傾けるプロ意識の高い人物として描かれている。

ウ あやめちゃんは、森での出来事をきっかけに、希薄な人間関係を見つめ直し、他の園児と良好な関係を築こうとする大人びた人物として描かれている。

エ 輝くんは、他の園児が困っていることに気づくと、ぬかるみのかを舞い戻り、その子をすぐに苦境から救い出す頼もしい人物として描かれている。



## 五 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

芸術というのは、いろんなことを感じていい、考えていいと促してくれるものです。想<sup>A</sup>ゾウ力の広がりを示しているわけです。と同時に、アーティストは、自分には思いつかないような、ものの限定の仕方を教えてくれる。「こういう形にするのか」という面白さです。概念として言えば、それは、ある個性的な仕方です。「有限性」を示すことです。多すぎる可能性のなかで、作品という有限なものを仮固定する。

ある特定の形にこだわる画家がいれば、ある響きにこだわる音楽家もいる。それは絶対のものではありません。① わけです。ですから、芸術になじむには、いろんなアーティストのいろんな作品を見ることが大事です。ものを限定するやり方にはいろいろあるということ、つまり、「有限性の多様性」がわかるからです。それによって自分の生き方が柔軟になっていく。自分の生活においても、楽しみを見出せるポイントはもっと多様だということに気づくでしょう。

たぐさんの例を見ることで、仮固定<sup>②</sup>でいいんだということがわかってくる。風景を描くときに、絶対唯一、最高の描き方というものはない。さまざまな作品のあり方は、どれも仮のもの。最高傑作とか究極の何々と呼ばれるものがあるわけですが、たぐさん見ているうちに、「確かにそれは傑作<sup>③</sup>だけど、他にもいいものはある」という感覚が育ってきます。

現実の目的達成では、しばしば、他にはやりようがなくてそうするしかないという結論になるわけですが、芸術はそうではなく、多様性や相対性を教えてくれるのです。そして、大きく見て人生のリズムというのも、いろいろでいいじゃないかということになる。

多様な芸術があるということに近づけて、人生の多様性を肯定できるよ  
うになっていく。ただ、ここには重要な衝突があり、人間社会には、こう  
するのが正しい、これが善でこれが悪だという倫理や正義の問題がありま  
す。倫理や正義に関し、絶対のものがあるかどうかにはここでは立ち入り

ません。現実の問題に対して自分はどのような立場をとるべきなのかという  
悩みは尽きないでしょう。しかし芸術には、「どうすべきか」の手前の時  
間があります。これは現実から目を逸らすことではありません。人間と出  
来事に対する別の見方を探るということです。

こういう言い方にはハン発<sup>B</sup>を抱く人がいるかもしれませんが、どんな悪  
人の人生でも、芸術的観点で見ればひとつの作品だと言えます。実際、文  
学作品では、現実の社会では許されませんが、人間のある種どうしよう  
もないひとつの可能性として描かれたりします。そのときにそれは、「こ  
ういう悪い人間に気をつけましょう」といった注意喚起のメッセージを発  
しているわけではありません。

人間というのは、根本的に可能性の溢れ<sup>C</sup>を生きている動物であって、そ  
の溢れには、何らかの規範から外れること、端的に言って悪も当然含まれ  
ます。それゆえに、現実の社会運営では、人が共に生きていくために必要  
な制限や禁止が設定されている。ですが、そもそも人間が、悪まで含めて  
途方もない可能性の溢れを生きているということを表現において認めるの  
が芸術の力であり、それは、人間が人間たる<sup>C</sup>ジョウ件を認めていることに  
ほかならないのです。

人間は、他の動物に比べて、非常に大きく可能性を余らせている存在で  
あり、だから遅延を生きている一方で、やはり動物なので、目的を最短で  
達成しようとする傾向もある。この二つが綱引きをする。さっさと目的達  
成ができることが快である面もあり、他方で、まさに人間らしさとして、  
途中でまごまごすること、サスペンスを楽しむ面もある。サスペンスは不  
安、不快でありながら面白い。ラカン<sup>D</sup>的享楽です。

実際の目的達成をするのではない余暇の過ごし方として、二つの傾向が  
考えられます。

ひとつは、目的達成の楽しさをシミュレーションする方法で、架空の目  
的に向けて何段階ものハードルを設定し、そのサスペンスを楽しむという  
もの。それが遊びやゲームであり、これはあくまでも目的志向なので、お

そらく本能的になじみやすく、芸術よりもポピュラーだと言えるでしょう。やはり人は動物であって、目的達成が生きることのメインだからです。

それに対して、目的達成より途中の宙づり状態がメインになると、より芸術的になってくる。ただ、それは不安と背中合わせなので、目的性がよりはっきりした遊びやゲームに比べてポピュラリティが低くなります。

人間の生活は、目的志向と、宙づりを味わう不安混じりの享楽という二つをミックスすることでできている。人によってはそのバランスがどちらかに片寄っている場合があるでしょう。

ゲームにせよ、芸術的な宙づりにせよ、人間にとって楽しさの本質というのは、ただ安心して落ち着いている状態ではないわけです。楽しいということは、どこかに「問題」があるということです。漠然と問題があって、興奮性が高まっていることが、不快なのに楽しい。楽しさのなかには、そのように「否定性」が含まれている。普通は、否定的なものは避けようとするので、このことは意識に上ってきません。しかし、芸術あるいはエンターテイメントを考へるときに、これは非常に本質的なことです。

(千葉雅也『センスの哲学』)

(注) ラカン——フランスの哲学者。

ポピュラリティ——人気。

問一 二重傍線部A、Cの漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群のA、

Eからそれぞれ一つ選んで、その符号を書きなさい。

A ア 食料を貯ゾウする。 イ ゾウ器を移植する。

ウ 映ゾウが頭に浮かぶ。 E ゾウ木林を歩く。

B ア ハン額で購入する。 イ ハン長を決める。

ウ ハン画を彫る。 E 光がハン射する。

C ア ジョウ例を制定する。 イ ジョウ壁を修理する。

ウ ジョウ留水を作る。 E ジョウ船客を案内する。

問二 傍線部③はどの文節に係るか。一文節で抜き出して書きなさい。

問三 空欄①に入ることばとして最も適切なものを、次のA、Eから一つ選んで、その符号を書きなさい。

A 根底で共通する イ 分野ごとに異なる

ウ 人によって違う E 時を経て伝わる

問四 傍線部②の説明として最も適切なものを、次のA、Eから一つ選んで、その符号を書きなさい。

A 鋭い感性を研ぎ澄ますために様々な表現方法を探究すればよい。

イ 芸術が示す無数の見方から暫定的にどれかを選択すればよい。

ウ 最上の美的表現を求めて自分の技術を向上させ続ければよい。

E 身近にある芸術作品を順に取り上げて批判的に鑑賞すればよい。

問五 傍線部④の理由として最も適切なものを、次のA、Eから一つ選んで、その符号を書きなさい。

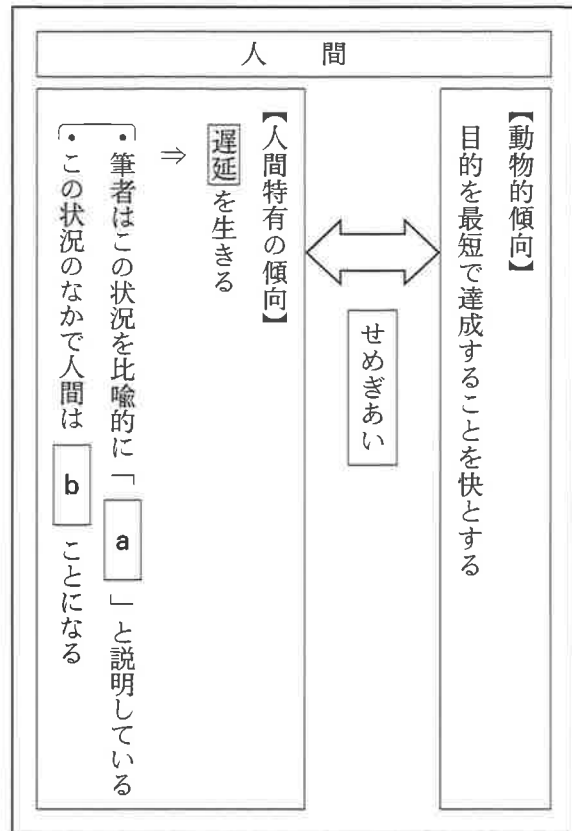
A 人間は元来際限のない選択肢を持ち、非道徳的な行動をとりうるので、現実の社会では善悪の区別を示しておくことが必要だから。

イ どんな生き方も肯定される芸術の世界では、人間は自由に生き方を選択できるため、芸術は人間に善行を促すものとはならないから。

ウ 現実の社会で人々は倫理観を求められており、芸術によってそれに揺らぎが生じないように、厳格な取り締まりが不可欠だから。

E 社会問題のなかには多様な議論を巻き起こすものがあり、他者との協調に向けて、人々に対して規制を設けることが肝要だから。

問六 傍線部⑤を説明した【図】の空欄a・bに入る適切なことばを、aは本文中から三字で抜き出して書き、bはあとのア～エから最も適切なものを一つ選んで、その符号を書きなさい。



- ア 不安がなくなり安心する
- イ 即座に理想の選択を行う
- ウ 時間の経過に快を見出す
- エ 不快と快を同時に味わう

問七 傍線部⑥の説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 現実の社会問題を解決する過程で、不安を取り除くために自分で何度もシミュレーションを実施し、課題解決への道筋を探る活動。

イ 余暇において、現実の社会における目的達成の場面上に大変な障害を自分で設定し、それを乗り越える過程の不安を味わう活動。

ウ 架空の目標の達成に至るまでに適度な不安を感じながら、現実の社会と同じように目的を達成する楽しさを擬似的に体験する活動。

エ 余暇を楽しむために、現実社会とは違って、不快を覚えずに困難を克服していく喜びを味わうことができるように工夫された活動。

問八 本文に述べられている人間と芸術の関係の説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 芸術的な感覚に優れた人間は、それぞれが持つ個性を発揮して、社会問題に対して思いも寄らない観点からの解決方法を提示できる。

イ 芸術に親しむことをとおして、人間は様々な視点を獲得し、結果として柔軟に自身の生き方を選択することができるようになる。

ウ 人間は社会生活で身に付けた倫理や正義に従って、芸術によって示される多様な生き方から自身に最適なものを選び取っている。

エ 人間の楽しさは目的達成と不安混じりの享楽という二種類の要素から構成されており、その調和は芸術によって維持されている。